九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

平成23年度CSI委託事業報告交流会成果報告

馬場, 謙介 九州大学附属図書館研究開発室

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

https://hdl.handle.net/2324/22155

出版情報:2012-06-27

バージョン: 権利関係:

平成23年度成果報告「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」

九州大学,一橋大学,筑波大学,三重大学

http://code.google.com/p/csiworkflow/

目標

リポジトリの登録論文数を増やす!!

- ●九州大学のリポジトリ(QIR)の場合, 登録論文数は,実際に執筆された論文 の高々3割程度
- ●ほとんどの機関で同様の状況であると 推測される
- ●コンテンツが充実すれば,文献の内容やアクセスログの詳しい解析や,便利な閲覧機能を追加する意義が出てくる
- ●リポジトリへの論文登録作業は,著作権ポリシーの確認が必要な学術雑誌論文が特に面倒

アイデア

論文著者に登録を促す

- ●現状は基本的に著者による自発的な登録
- ●単純に手間を省くだけでは効果がない ▶研究者DBからのリンクは全く効果が無かった
 - ➤研究者の意識:否定的ではないけど, 積極的ではない

リポジトリ管理者の作業効率を上げる

- ●登録依頼が殺到しても,処理できなければ登録数は増えない
- ●現状の効率化は,担当者個人の工夫が 頼り
 - ▶経験
 - ▶自作のエクセルファイル

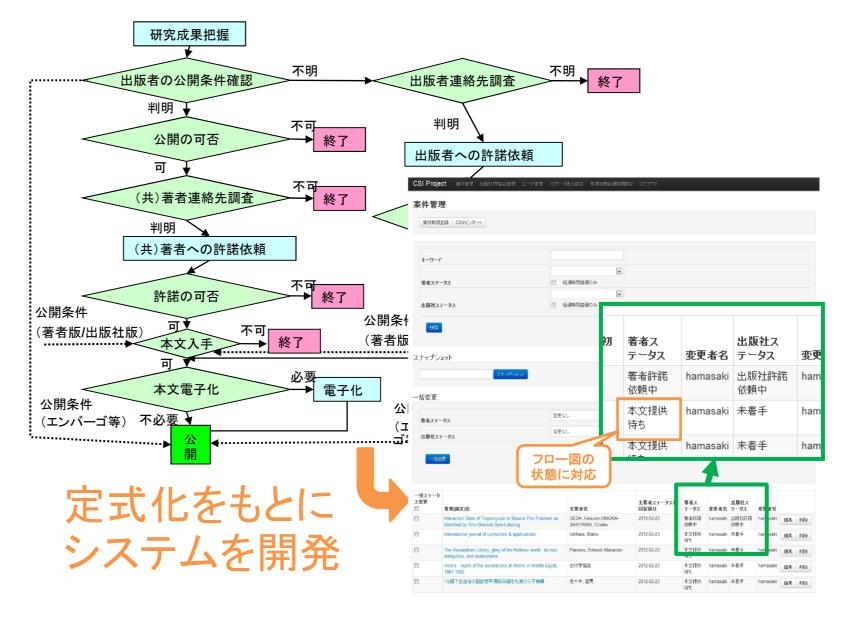
具体策

教員問い合わせシステム(H22)

- ●外部の学術論文データベース(Scopus, CiNii等)で自機関の研究者による執筆論文を検索
- ●電子メールで登録の催促→研究者はメタデータを確認して、本文をアップロード

著作権処理状態管理システム

- ●リポジトリ管理者の論文登録作業を定式化 (H22)
- ●自動化できる部分は自動化(H23) ▶出版社著作権ポリシーの確認で, SCPJやSHERPA/RoMEOを活用



平成24年度の計画

システムの検証・評価

- ●平成23年度までに開発を行ったシステムを運用
 - ▶API等による上記システム間の連携
- ●論文登録数やリポジトリ管理者の作業 時間の調査を行う

他のシステムとの連携

- ●機関毎に異なる環境のための汎用化
- ●研究者データベース

連絡先: 九州大学 附属図書館 eリソースサービス室リポジトリ係 〒812-8481 福岡市東区箱崎6-10-1 092-642-2342 qir@lib.kyushu-u.ac.jp